第 44 回福島県消防救助技術大会に係る管理者査閲を行いました。

令和４年６月１７日（金）１０時００分から、伊達地方消防組合消防本部屋外訓練場において、伊達地方消防組合管理者、議会議長、幹部職員が出席し、消防本部特別救助隊員２０名が来る６月２２日福島県消防学校で行われる「第 44 回福島県消防救助技術大会」に出場するにあたり、今日までの訓練成果を披露するとともに、優秀な成績を目指すうえで、救助隊員の士気高揚を図るため、以下の種目（競技）を実施しました。

１　引揚救助　１組（齋藤チーム）

２　ロープブリッジ救出　１組（八巻チーム）

３　はしご登はん　２名（山川隊員、菅野（乃）隊員）

４　ほふく救出　１組（大波チーム）

また本大会では、「現場での救助技術の向上」「新しい資機材の導入」を目的とした技術訓練を「広域災害における救助活動・河川氾濫による孤立住宅からの救出」をテーマに、本消防組合が主体となり、福島・安達消防本部と合同（県北３消防混成隊）で披露するため、本消防組合中央消防署特別救助隊員７名（要救助者含む。）で編成し、その訓練経過も併せて披露しました。

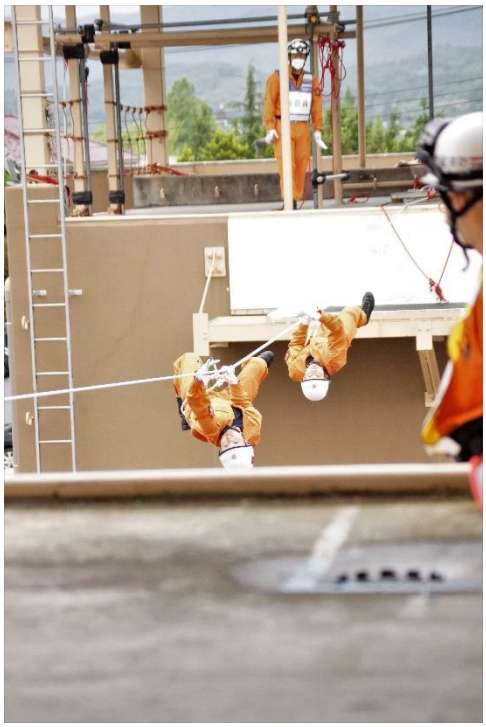
●技術訓練　７名（八巻、加藤、氏家、菅野（諒）、後藤、安西、藤原）

【訓練申告】

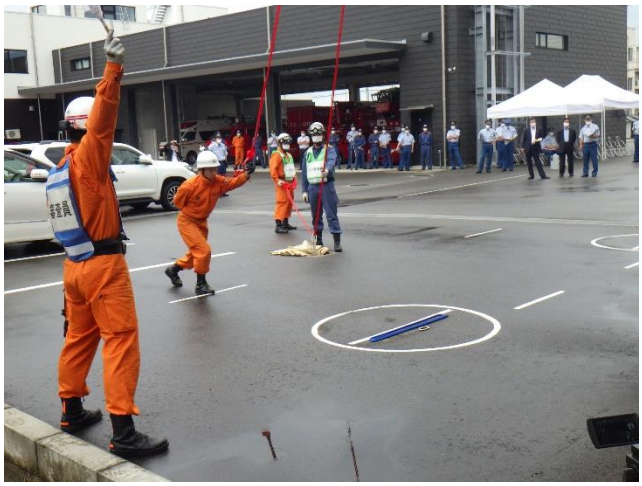
【引揚救助】

【ほふく救出】

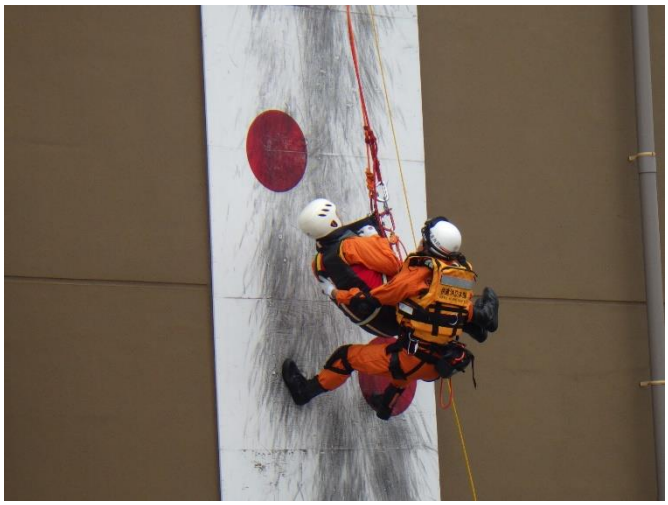
【ロープブリッジ救出】



【はしご登はん】



【技術訓練】



【管理者講評（須田博行 様)】

【議会議長挨拶（安藤喜昭 様)】

【集合写真】